



立中教育の思い出

第15代校長 花枝 吉浩

美しい立江川辺に……あのすばらしい立中校歌が、歌えなくなるという淋しい時代が訪れようとしています。

一、私の中学時代

私たちが中学生の時にはなかった校歌、私は教員として立江中学校に赴任して、初めて校歌を歌うことができました。作詩者は私たちの恩師森吉芳校長先生です。

常に口ずさみたくなるこの校歌、本当に今も歌いたくなってきました。私たちの中学時代は体育館もなく、木造平屋建ての校舎が二棟と、今の保育所の近くにあった二階建ての校舎で学習したものです。現在の体育館がある所は野菜畑で、プールの付近も通路と畑であったと思います。職業の時間(今の技術家庭科)の実習地で、さつまいもやかぼちゃんなどを作り、うまく育ったものは立江の町へ荷車をひいて売りに行ったものです。

また、運動場は野球の内野とテニス、バレーボールなどのコートは、土を入れてきれいに整地されていましたが、野球の外野などはこぶし大の石がゴロゴロころころがって危険な状態のままでした。

体育館が三年生の時に着工しましたが、目の前に完成した姿を見ながら、受け取りができていないということで、卒業式も細長い木造校舎の戸をはずして、いつものように行われたので、大変残念でした。

二、教員時代

立中教員となって母校へ帰ってきたのは教員生活十五年目でした。生徒たちは大変素直で、先生先生とよく話しかけてくれ、学習、部活動ともに大変熱心でした。

丁度生徒たちは、保護者が私の同級生や上、下の人が多く、気心もわかっており、気軽に何事も相談できたことは、本当に良かったと今も思っております。

私は赴任してから三年生の担任ばかりでしたので、何とかそれぞれが希望する学校に進学させようと、時にはきついことも言ったりしましたが、生徒たちもよく頑張り、毎日出す数枚のプリントも、ほとんどの生徒がやって来るようになり、模擬テストなども県下でも常に上位にランクされ、研究発表会でも積極的に発表し、県教委の先生方の学校訪問の時など、男子が大きな声で校歌を歌ったことをほめていただき「県南の学習院ですね」と言って下さったことを誇りに思ったことでした。

また、毎年各郡市で教科の発表大会があり、音楽の部会では毎年創作コンクールがあり、第一席に立中三年生が選ばれ、県下の音楽の先生が歌ってくれたという名誉なこともあり、学校中が喜びに湧いたこともありました。

一方、体育面でもバレーボール部が毎年県の上位に男女とも入る活躍をしていました。私の担当する野球部は、六年間で一総体に出場し、三位の賞状をいただいたのが良い思い出になっています。

三、学校長時代

母校立江中学校で学習し、校長となって立江中に赴任させていただいたのは私が最初で、その時はこの立江中で子どもたちと学習できることに何とも言えない喜びを感じました。生徒たちも以前と変わらず、大変真面目で学習にも部活動にも熱心に取り組んでいました。そんな中で毎年実施している社明弁論大会で、立中の女子生徒が県大会で第一席になり喜びに湧いたことや、陸上競技で千五百、三千で県1位となり、正月の徳島駅伝の中学生部門で初めて1位になることができ大喜びでした。

こうしたことも、先生方の熱心な指導はもちろん、地域、保護者の暖かい協力があったからだと思われま。これからは坂野中学生と共に、更に向上した小松島南中を作ってくださいよう頑張ってください。